

令和2年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
キックオフミーティング 発表資料

活動団体名：鶴岡市三瀬地区自治会

活動地域：山形県鶴岡市

三瀬（さんぜ）イズム

～住むを楽しむコミュニティ～



地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

☆三瀬地区地域ビジョン

みんなが元気を生み出し発信するまち三瀬

- ・地域を学びその魅力をPRし三瀬ファンや移住者を増やす！
- ・イベントに参加し、人と人のつながりを深める！
- ・健康管理に努め、健康になる！

みんなで作る安心なのまち三瀬

- ・思いやりの心をもってまわりに目をくばり生活の安全・安心を確保する！
- ・防災訓練に参加するとともに避難用品を備えて防災意識を高める！
- ・自主防災組織や消防団の連携、三瀬の仕組みを考える！

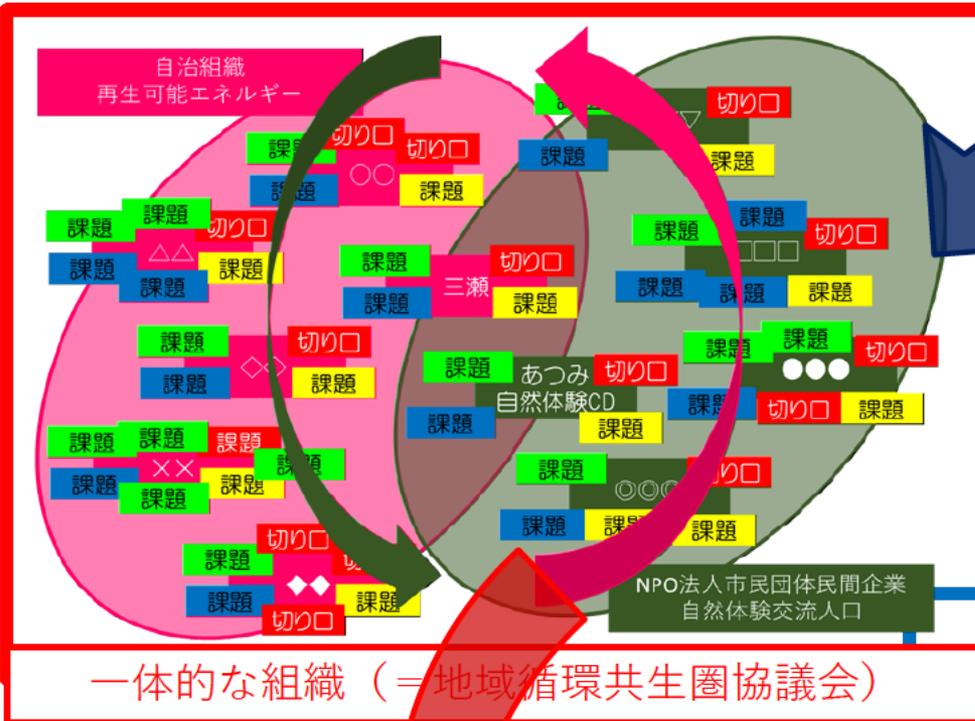
みんな支え合う住みよいまち三瀬

- ・つながりを大切に助け合える機能を見直し地域ぐるみで支え合う！
- ・空き家の活用に協力する！
- ・生活ニーズに対応すべくコミュニティビジネス等の取り組みを検討する！



地域循環共生圏（仕組み・考え方含め）の理解・実現により同時解決を目指す！

多方面を巻き込みながら多様な課題の多彩な同時解決！



一体的な組織（=地域循環共生圏協議会）

都心部との循環
＜人的資源の流入＞
交流人口・関係人口
移住など
＜資金の流入＞
再生可能エネルギーの購入
森林資源の活用（建材なども）

地域の現状と課題

地域の現状

◎山形県鶴岡市

人口約125000人

海山川田園が全国第10位の広大な自治体面積の中に広がる

◎活動地域の特性

城下町ならではの真面目で勤勉な気質

= 固い！フットワーク重い！

一度やると決めたら持続的

= 融通が利かない

◎活動地域にある地域資源

豊富な森林資源と紐づく文化

海山川里と紐づく伝統芸能や建築、生活などの文化

日本唯一ユネスコ「食文化創造都市」に登録される食文化

濃密なコミュニティ（自治組織）

課題

◎現状から考える地域の課題

人口減少が加速度的毎年1500人減

域外化石燃料流出額186億円

自然エネルギーポテンシャル

域内使用の12倍以上

市への民間消費流入は26億円

消費の約0.7%と低調

◎今後取り組むべき課題

環境課題を切り口にした持続可能な地域

（自治組織単位）づくり。またその連携

◎地域循環共生圏構築を通じて、具体的に解決しようとする課題

森林資源のエネルギー活用による山林適正管理と地域内経済循環

海山川里を生かした自然体験による住民の住み続ける理由（プライド）再認識と交流

人口関係人口の獲得

地域のありたい未来の実現のために

- 今年度→連携予定団体、地域との情報共有・課題抽出、方向性確認の上、協議会（任意団体）を設立
- 手順→連携予定団体、連携希望団体、行政、民間企業等に事業を説明、そのうえで地域に何が必要かも共有、各々のメリットデメリット確認。（団体によっては課題の洗い出しから実施する必要あり⇒山形大学農学部と連携）
- 「森林資源の活用」と「海山川里の自然体験」を実施することが各団体の課題とどのようにつながり解決の糸口になるかを理解する。
- 鶴岡市内の組織団体が交流し、それぞれの事業の中身を理解する。
- 協議会が「森林資源の活用」と「海山川里の自然体験」を柱に、行政や金融機関、DMO等の力を借りながら都市部とのつながりのなかで人的資源、資本の流入等を実現していく。雇用も。
- これらの活動の中で先の社会的・経済的、環境的課題（人口減少が加速度的毎年1500人減、域外化石燃料流出額186億円、自然エネルギーポテンシャル内使用の12倍以上、市への民間消費流入は26億円消費の約0.7%と低調）を解決していく。

今後の取組予定

話を聞きに行く！

- 地域（自治組織）との対話
- 行政（県、市の関連部署）との対話
- 自然体験実施団体との対話
- 民間企業との対話
- 三瀬地区内の住民との対話

地域のコンセプトを描く！

- 話を聞きに行った団体に課題の整理向かう方向性を考えてもらう。
- 行政も？総合計画？民間も。
- 重なる部分は一緒にやれる部分

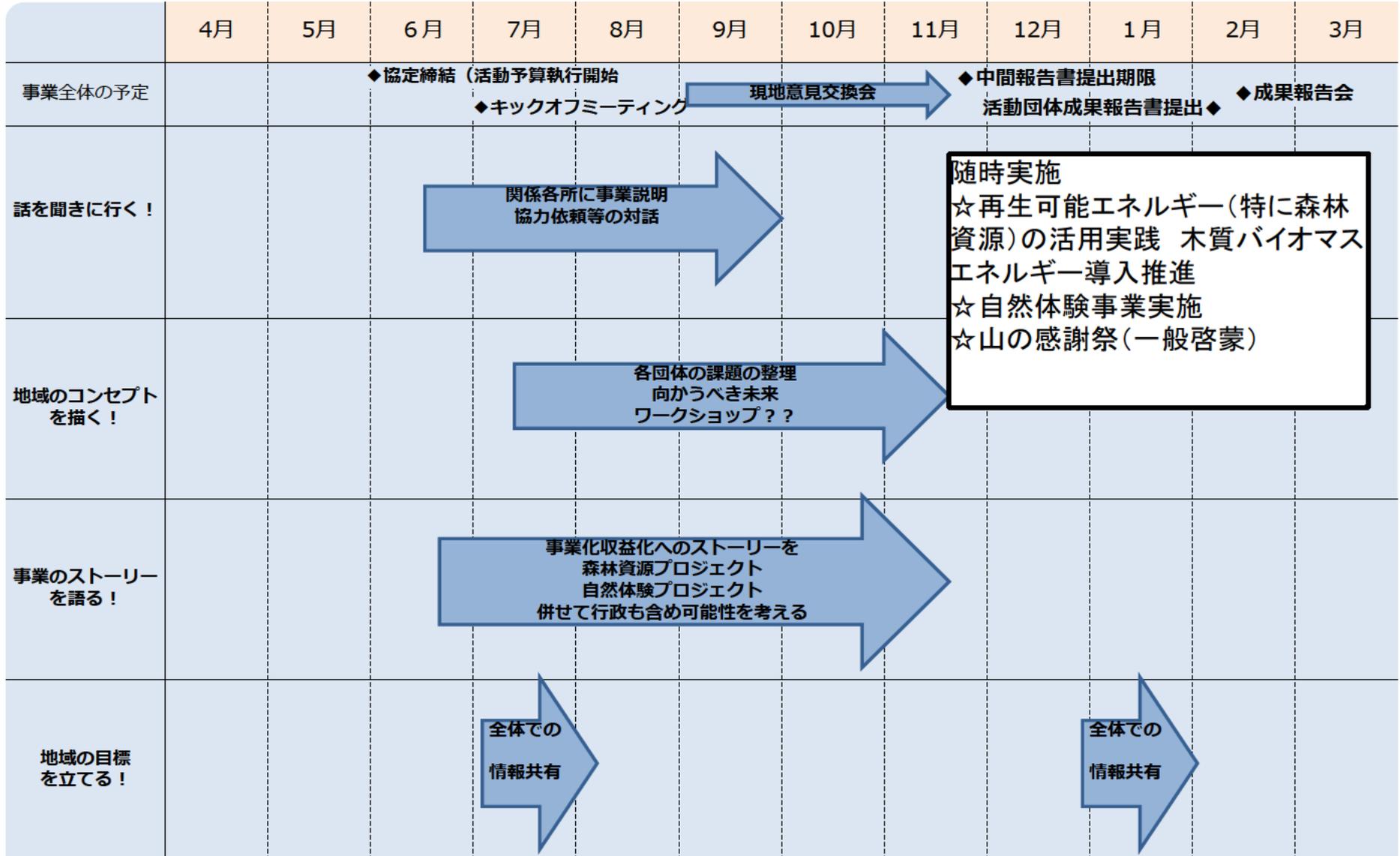
事業のストーリーを語る！

- 森林資源に由来する事業を考える。（薪の販売、郷土料理の販売など）
- 自然体験の開発と地域内での価値の共有と平準化
- 地域内での需要と都市部からの流入のプ
ロモーション

地域の目標を立てる！

- 鶴岡市が流出させている186億円の石油石炭エネルギーの地域内循環
- 三瀬地区で流出してる 1.1億円の石油エネルギーの地域内循環
- 自然体験事業への参加人数
- 移住者の人数

年間スケジュール



こんなことを助けて欲しい！

- ワークショップのファシリテーター、課題やありたい未来の姿を引き出す技術。（三瀬地区は2年かけて地域ビジョンを作成）
- 全体像がかなり広範囲になるため、ステークホルダー、各団体間のメリット調整。
- 地域住民がこの内容で地域が良くなると実感しにくそう。目に見える変化が短期間に（一部でも少量でも）あるとよいと思うが、その具体的なアイデア。